損保ジャパン日本興亜福祉財団 NEWs

Sompo Japan Nipponkoa Welfare Foundation

●2016年度の主な助成金の募集（公募）
●2015年度　NPO基盤強化資金助成　贈呈式を開催
●2015年度　海外助成　贈呈式を開催
●第17回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の贈呈式を開催
●学校訪問～介護福祉士養成のための奨学金給付事業～
●ご報告　～財団が後援した事業～

発行者　公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン日本興亜本社ビル　TEL：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257
http://www.sjnkwf.org/　Eメール：office@sjnkwf.org

2016 vol. 1

2016年度の主な助成金の募集（公募）

2016年度の社会福祉事業における助成金の公募を以下の通り予定しています。

事　業　名 （募集時期／予算）	事業の内容 ※助成金額	対象となる団体
在宅で高齢者を介護する家族の研修会資金助成 （５月１日～６月15日／総額300万円） 《本年度の募集は終了しました》	認知症等の高齢者を在宅で介護する家族等を対象とした研修会等の開催費用を助成 ※１団体15万円（上限）	・北海道、東北地区、関東地区に所在する団体 ・活動実績１年以上の介護家族の会、介護家族等を支援するNPO法人
自動車購入費助成 （６月１日～７月15日／総額1,000万円） ※詳細は財団のホームページをご覧下さい	主として障害者の福祉活動を行う団体が、自動車を購入する際の資金を助成 ※１件100万円（上限）	・特定非営利活動法人、社会福祉法人 ・主として障害者の福祉活動を行う団体（ただし、加齢に伴う障害者（高齢者）の福祉活動団体は除く。） ・西日本地区に所在する団体
NPO基盤強化資金助成 （10月～11月／総額1,600万円）	「組織の強化」と「事業活動の強化」に必要な資金を助成します。 ※１団体50万円（上限）20団体程度	・社会福祉に関する活動を行う特定非営利活動法人、社会福祉法人 ・東日本地区に所在する団体
	認定NPO法人取得資金を助成 ※１団体30万円、20団体	・認定NPO法人の取得を目指す社会福祉分野の特定非営利活動法人 ・全国で募集
海外助成 （10月～11月／総額400万円）	ASEAN加盟国およびインドの非営利団体の活動に助成 ※１件100万円（上限）	・社会福祉分野で活動をする非営利団体 ・ASEAN加盟国、およびインドに本部を置く団体 ※現地駐在員の推薦が必要です。



2015年度自動車購入費助成先 山形自立支援創造事業舎


2015年度NPO基盤強化資金助成先 郡山ペップ子育てネットワーク

2015年度　NPO基盤強化資金助成　贈呈式を開催

損保ジャパン日本興亜社の各支店のご協力で、助成金の贈呈式を開催しました。

福 島 支 店





●助成先から感謝の言葉をいただき胸が熱くなりました。東日本大震災により屋外での活動が制限されている子どもの健全育成と保護者支援を目的にしていますが、放射線量が気にならなくなっても充分に魅力的な施設です。贈呈式で施設を訪れ、思いっきり体を使って遊んだり、調理体験ができる福島っ子は幸せだなと地元の一員として感じました。このような活動を継続的に支援できたら、と思いました。

〔福島支店　木田さん〕

〈NPO法人　郡山ペップ子育てネットワーク〉

和歌山支店



●ここでは、身体・知的・精神障害者の方が梅干しなどの地元農産物の仕分け封入作業を行っています。倉谷理事長は、今回の助成金により梅干などの仕分けや種抜き作業を行うベルトコンベアを更新できれば位置が高くなって腰の負担が軽くなるなど作業効率が飛躍的に向上するので大変ありがたい、長い間民間企業の経営に携わってきたので経営者としてのノウハウを活かし同法人の事業を持続的に発展させていきたい、と話していました。おみやげにいただいた「干し梅干」は、一般的な完全に乾燥させたものと異なり、半生で非常に風味と香り豊かで、包装もコンパクトで販促品としても良い商品でした。ご支援の一つとして支店で購入しようかと考えています。〔大木支店長〕

〈特定非営利活動法人　絆〉

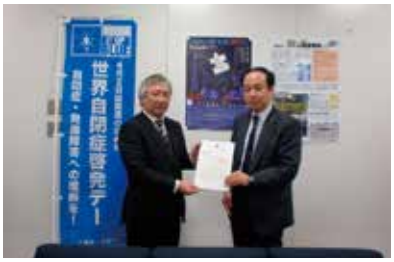
愛媛支店





〈特定非営利活動法人　こころ塾〉

広島支店



〈特定非営利活動法人　広島自閉症協会〉

熊本支店





就労風景（漬物作り）

〈NPO法人　木もれ陽会〉

福岡中央支店

助成先の会報誌に掲載されました！


エスタス通信　弥生

公益財団法人損保ジャパンニッポン興亜福祉財団さまより助成金として50万円をいただきました。

2月10日

気候の定まらぬ中、時を知ったかのような穏やかな日。福岡中央支店より、今里店・長谷川店をお迎えしました。これまでのNPO法人エスタスカーサの歩みに賛同頂きショートステイアルコイリスの屋根修理をご理解くださったという主旨で50万円を助成いただきました。平成30年までにスプリンクラーの設置が義務づけられており、次年度、工事完了予定です。然るべく、その費用の一部に充てさせていただきます。公益財団法人損保ジャパン興亜福祉財団さま、ありがとうございました。今後も一層介護事業に邁進いたします。

〈特定非営利活動法人　エスタスカーサ〉

他に札幌支店、静岡支店、名古屋支店、北九州支店、大分支店、長崎支店、沖縄支店でも助成先に伺って贈呈式を開催しました。

2015年度　海外助成　贈呈式を開催

助成先のマレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイの５カ国で、助成金の贈呈式が開催されました。助成先団体の皆様、JICA、障害者団体など多くのご参列を得て開催され、現地の新聞などのメディアに掲載されました。

PT FOUNDATION　（マレーシア）



●PT-Foundationはマレーシアでの HIV感染に対する予防・早期発見および感染後のケアサポート活動をおこなっています。今回は母子感染者へのカウンセリング支援を行う「セカンド・チャンス・プログラム」の取組みが助成対象となりました。
この国では、HIV感染者に対する差別・偏見がいまだに根強く残っており、国立病院でのHIV感染に対する無料の医療サービスなど行政主導の支援が提供されているものの、感染者に幅広く認知されるに至っていません。そのため、今回助成対象となった地域コミュニティーを基盤とするNPO団体の支援活動はHIV感染者の救済に大きく貢献しています。特に社会的弱者である女性・児童に焦点を当てた今回プログラムを資金面で支援する意義は大きいと感じました。

若林 祐樹さん（Berjaya Sompo Insurance Berhad）

Eden Center for Disabled Children (ECDC)　（ミャンマー）



●ECDCは創設者であるTha Uke氏の崇高なビジョンとリーダーシップにより着実に組織と活動を拡大しています。今回は障害児が自分に出来る事を確認して、自信を持つ事を支援するプログラムに助成しました。とても意義のあることを確信しました。

Ei Ei Lattさん（損保ジャパン日本興亜　ヤンゴン事務所）

SPD（シンガポール）



●障害者の自立を支援するSPDの有意義な活動の支援を携わることができ、誇らしく思います。SPDアビリティーセンターの職員の皆さんが一生懸命に障害者支援に取り組む姿勢や、障害者の皆さんが楽しみながら仕事をしたり学んだりする姿を目の当たりにし、今回の助成を通じてお役に立てることをうれしく思いました。

高橋 幸嗣さん
（Tenet Sompo Insurance Pte. Ltd.）



＜助成先、贈呈式出席者などの感想＞

〔リム・トウ・チョン氏（センター利用者）〕
徐々に運動能力が低下してく脊髄小脳性運動失調を患っています。移動は電動スクーターに頼らざるを得ませんが、作業台に対してスクーターの高さが高すぎるため、作業場では車いすに乗り換えなければなりません。SPDの車いすはかなり古くなっていましたが、今回の助成で12台もの新品の車いすが使えるようになり快適になります。

〔ジェフリーチン氏（SPD成人老人サービス部副部長）〕
適切なサポートと装備さえあれば障害のある人々も効果的効率的に働くことができます。今回の助成に感謝します。

ACTION Inc（フィリピン）



●助成金は児童養護施設や貧困地域にいる子どもの自立を目指したヘアカットトレーニングプログラムに使われます。日本の美容師の方たちが指導しています。

子供たちも参加した贈呈式の様子が当地「まにら新聞」にも掲載されました。

新川 大輔さん
（PGA Sompo Insurance Corporation）



Association for Independent Living of People With Disability（タイ）



●2016年2月17日にナコンパトン県にある地方マーケットで贈呈式が開催されました。ここはAILDが障害者の利便性向上に取り組んでいる民間の商業施設です。贈呈式には、バンコクを拠点にアジア太平洋地域で障害者団体の支援を行っているアジア太平洋障害者センター（Asia-Pacific Development Center on Disability）、独立行政法人国際協力機構（JICA）からも代表者が出席されました。贈呈式後に実際にマーケットを視察し、段差やトイレの構造の問題点などを確認しました。今回の助成がこれらの改善に役立てられることが期待されます。

岩下 里詩さん
（当時　損保ジャパン日本興亜タイランド）



第17回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞の贈呈式を開催

社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「第17回損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」の贈呈式を2016年３月８日に損保ジャパン日本興亜本社ビルで開催しました。
受賞者の青山陽子 氏（成蹊大学ほか非常勤講師）が受賞著書の「病いの共同体－ハンセン病療養所における患者文化の生成と変容－」についてのご自身の研究の過程に触れながらご挨拶されました。
受賞者及び文献要旨を財団ホームページに公開していますので、是非ご覧ください。




蜂谷俊隆さんに「研究奨励金」を贈呈しました。
著書名：「糸賀一雄の研究」

≪受賞記念講演会とシンポジウムのご案内≫

日　時：2016年7月23日（土）午後１時～５時
場　所：グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）
内　容：受賞記念講演とシンポジウム
　　利用者の「生活」から福祉の「場」を考える
申込み：当財団ホームページより　http://www.sjnkwf.org/

学校訪問～介護福祉士養成のための奨学金給付事業～

財団では、毎年20名の介護福祉士を目指す学生に、返済不要の奨学金を支給しています。
このたび奨学生が学んでいる「南海福祉専門学校（大阪府・高石市）」を訪問し、久保山事務長と麻生キャリア支援部長にお話を伺いました。


実習風景

1968年設立の同校は、保育士、介護福祉士、社会福祉士の養成校として、大阪府南部各地域から学生を受け入れ7,700名を超える優秀な卒業生を社会に送り出しています。「現場で即戦力となれる専門性と実践力を養うことに力をいれる」との方針のもと、実習教育時間を多く設け、入浴施設などの介護に関する実技学習の設備も充実しています。



少子化、並びに経済的な理由から介護施設で就労しながら介護福祉士を目指す学生の増加により、入学応募者の確保が大きな課題です。一方、介護福祉専門学校への求人件数は2,000件を超え、介護現場での人材不足の深刻さが伺えます。
お二方のお話から当財団の奨学金への期待の大きさを感じました。
（訪問者：当財団専務理事・高野　2016年2月4日）

ご報告　～財団が後援した事業～

《(公社) 認知症の人と家族の会主催の第31回全国研究集会を後援しました》

同研究集会は2015年10月４日に栃木で開催。全国から認知症の人および介護家族870名が参加し「ことばより、心に寄り添う認知症～私らしく、地域で暮らしていくために～」をテーマに、こころ豊かに安寧な生活を実現していける地域社会を目指していくことを学び合いました。



☆☆財団からのお知らせ☆☆
財団が主催する研究会の叢書を発刊しました。
・叢書86号「第16回　損保ジャパン日本興亜福祉財団賞受賞記念講演録」
・叢書87号『「保険業法に関する研究会」報告書　債権法改正と保険実務』
・叢書88号『「福祉マネジメント研究会」報告書　ニーズ対応型福祉サービスの開発と起業化』
当財団ホームページに全文を記載していますので、どうぞご覧下さい。また冊子をご希望の方は当財団までご連絡ください。